

1997-2008年度生まれの女の子は
機会を逃し、2025年4月以降に接種する場合、
3回分で約10万円かかります。



①接種券を探そう。
見当たらなければ市町に相談。

詳しくは
裏面で確認！

②子宮頸がんを知ろう。
年間約1000人が30代までに子宮を失い、
約300人に1人が死亡。

③HPVワクチンを知ろう。
がんを約9割防げる。

④接種後も安心の診療体制
専門医療機関が連携して対応。



⑤2025年3月31日までに
1回目を打とう。

公費の最終期限2025年3月31日までに1回目を接種すれば、
無料で3回の接種を完了できます。

詳しくはこのリーフレットまたはYouTubeで
HPVワクチン 私たちにできること



作成・協力
岡山大学病院
(中国ブロック拠点病院)

●厚生労働省ホームページ
ヒトパピローマウイルス感染症
—子宮頸がんとHPVワクチン—



2025年1月改訂版

作成 福井県 監修・協力 (一社)福井県医師会・国立大学法人福井大学・(公社)富山県医師会



SAVE ♥ WOMB

1997-2008年度生まれの女の子へ
3/31までに1回目の接種を！

まだ間に合う！
子宮頸がん予防ワクチン

ラスト
チャンス

1. 接種券を探そう。

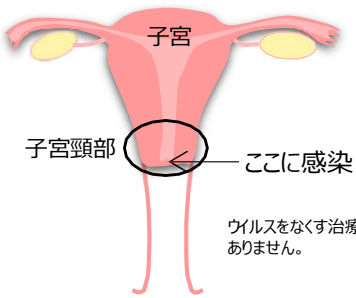
- ・ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンは小6から高1までの期間に無料で受けられる定期接種です。
- ・1997（H9）～2007（H19）年度生まれの女性には、特別に2025年3月31日まで、期間限定で無料で接種する機会が設けられました。（キャッチアップ接種といえます。）
- ・無料の接種券が入ったお知らせが、市町村から住民票のある住所に送られてきています。

まだ接種していない方、おうちに**使っていない接種券が眠っていませんか？**
接種券をなくしても再交付できます！ 住民票のある市町村役場にお問い合わせください。

- ・1997～2007年度生まれの女性は、**キャッチアップ接種対象者**です。
- ・2008年度生まれの女性（高校1年生）は**今年度が定期接種の最終年度**です。

➔未接種の方は、**2025年3月31日までに1回目の接種を！**

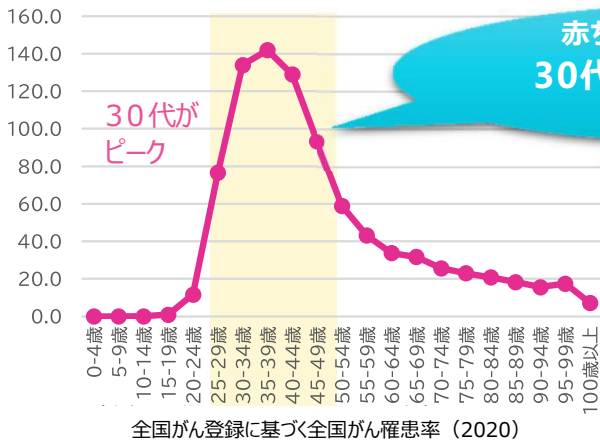
2. 子宮頸がんを知ろう。



- ・性交で8割の女性がヒトパピローマウイルス（HPV）に感染。
- ・大多数は免疫力でウイルスを排除 → しかし、何度でも感染。
- ・一部の人はウイルスが排除できず、感染から数年～10年ほどで子宮頸がんに至ります。
- ・がんになる手前で見つけるのが「子宮がん検診」。症状がない初期のうちなら、子宮の「部分切除」で治すことができます。
- ・しかし「部分切除」後は、早産や不妊のリスクが高まります。
- ・最近、検診で見つかりにくいタイプのがん（子宮頸部腺がん）が増加。

だからワクチンが必要。

年代別の子宮頸がんになる人の割合



赤ちゃんを産む人が最も多い
**30代までに子宮を失う女性
 毎年約1,000人**

生涯で子宮頸がんになる女性
 (2020年データ)
80人に1人

子宮頸がんで亡くなる女性
 (2023年データ)
301人に1人

国立がん研究センター最新がん統計より

3. HPVワクチンを知ろう。

- ・**3回の接種で、HPVへの感染そのものをブロック。**
- ・性交経験前なら子宮頸がんを約9割予防。
- ・性交経験後でも子宮頸がんを約6割予防。
- ・効果は12年以上。
- ・発がんに関連するHPVには16、18、31、33、45、52、58型など多数の型があり、とくに進行がんでは16、18型が関連する 경우가ほとんどです。

標準的な接種スケジュール



4. 接種後も安心の診療体制

- ・接種部位に赤みや腫れや筋肉痛のような痛みが出ることがありますが、多くの場合1週間程度で軽快します。
- ・HPVワクチン接種後に、体の痛みや歩行障害などの多様な症状が出たという報告がありましたが、同様の症状は接種していない人にも出現しており、因果関係を証明したものはありません。
- ・接種後の痛みなどが不安であれば、接種した医療機関やかかりつけ医、痛みの専門医療機関が連携して診療にあたりますのでご相談ください。

気になる症状があれば…
まず受診

接種した医療機関
 または、かかりつけ医

必要に応じて
 相談・受診

福井大学医学部附属病院
 (協力医療機関)

連携して診療

富山大学附属病院 痛みセンター
 (北陸ブロック拠点病院)

5. 2025年3月31日までに1回目を打とう。

- ・公費によるHPVワクチンキャッチアップ接種期間は2025年3月31日まででした。
- ・しかし、昨年の夏以降にHPVワクチンの接種を希望する人が増えたことから、接種を希望しても受けられなかった方がいました。
- ・そこで、**1回目を2025年3月31日までに打てば、残り2回も公費で打てることになりました。**
期間：キャッチアップ接種期間（2025年3月31日まで）終了後、1年間

2025年3月31日までに1回も接種していない場合

自己負担で3回接種すると

3回で約10万円